

令和5年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6(2024)年1月25日

協議会名: 上三川町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
関東交通株式会社	上三川町デマンド交通 名称:「かみたん号」 営業区域:町内全域 町外9施設 運行日:平日 運行時間帯: 8時から18時まで 運賃: 大人町内300円 大人町外450円 小学生 150円 未就学児 無料	事業者と協力し、利用者のニーズに合った運行を検討されたいとの評価については、かみたん号の利用方法を具体的に示した冊子「上三川町おでかけコンシェルジュ」を地域生活課窓口を設置し、利用者のニーズに合う利用方法を提案した。今後、公共施設等の待合室などに設置する予定である。 事業者と自治体との間で対話しながら運行方法を見直しの議論を行い、周辺環境や行動特性の変化などに対応されたいとの評価については、渋滞等に対応するため運行ルート等を見直すことで、断る件数を減らす等の対策を行った。 また、「地域」と「事業者」と「行政」の三者で役割分担を行い、地域住民が主体的に関与する仕組みを構築されたいという評価については、前年に引き続き、若年者層と高齢者層を対象としたアンケートを実施し、新たなニーズの掘り起こしを行った。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 目標:15,200人以上利用 実績:16,129人 目標:収支率20.0%以上 実績:18.0% 分析:利用者数は目標を達成することができたが、収支率は達成できなかった。 利用者がコロナ禍で利用できなかった回数券を使って乗車しているため、回数券の売り上げが少なかったものと思われる。	・今後もアンケートを実施し、住民のニーズの把握に努め、必要に応じ見直すことで、利用者の評価の改善に繋げる。 ・町民にデマンド交通の特徴を理解してもらうため、利用方法等の周知を強化することで、収支率の向上を目指す。

事業実施と地域公共交通計画／生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6(2024)年1月25日

協議会名：	上三川町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	上三川町地域公共交通の基本方針： 町民と来訪者が”安心・安全”に往来できる持続可能な公共交通ネットワークのあるまちを実現する 上記を踏まえたフィーダー系統維持の目的・必要性： 公共交通空白地の解消及び高齢者や自動車免許を持たない者等の移動手段の確保を図る